

## FXトレード鉄の掟 (設定例)

### 定点観測とトレードシナリオ作りを習慣にすること

作ったシナリオでその後の生活スケジュールを考えると 一定時間が経過し、シナリオ変更の必要があれば行うこと

シナリオのない仕掛けは絶対行ってはならない。 相場分析中に仕掛けたくなることがあるが、厳禁である。

### ストップは例外なく設定すること

EUR/USDとAUD/USDは、現在値から5pips離れていれば逆指値を入れられる。 IGマーケット証券の場合

ドル円、クロス円はストップの設定がしにくい(エントリーレート△スプレッド△10pips)ので、強いブレイクアウトのときのみチャレンジする。

大きく利益が乗った場合  
トレンド継続中の戻りや押し目を恐れて、むやみにストップレートを弱気(現在値近く)に変更し直すことは厳禁  
ただし、一定時間相場が動かなくなったとき、トレンド転換の可能性を考えて変更するのは許容する。

### 仕掛けた後にチャートを見て一喜一憂しない

別の仕事をしながら、片目でチャートを見て、相場の概況を追えれば十分である。

相場が順方向に動き始めたら、集中して手仕舞いのタイミングを見定める。 ⇒迷ったら目先の利益優先

### 簡単に取れるところだけを取ろう！ ブレイクアウトは初動だけで取るのが最高

15分足のRSI20-80手仕舞いルールについて、利益が30pipsを超えているときは厳格に適用し、早期手仕舞いを心がけること

RSIが20-80より手前でも新値更新できなくなったら、早めに手仕舞いしよう。

### 当日内のリベンジ禁止。リバースも禁止

一定の割合で負けるのは当然なので、すぐに取り戻そうとしてはならない。

他通貨ペアでのリベンジも原則的に禁止であるが、トレードシナリオが明記されている場合は、この限りではない。

### 逆張りとは提灯つけは厳禁

そもそも、このようなシナリオを立ててはならないし、シナリオにない仕掛けを行ってはならない。

### 短期トレンドの戻り売り、押し目買いも厳禁

強いトレンドが発生中の戻り高値、押し目を拾うトレードは、ボラティリティに食われるので、やめておく

### 仕掛けのチャンスのない日もあるが、それを恐れる必要はない。

### 相場の勝ち負けは、健全な精神状態をいかに保つかにかかっている。

健全な肉体を維持する努力を惜しまない。

### 規律のないトレーダーは去れ！